

新興ウイルス感染症学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Abe, H., Ushijima, Y., Loembe, M.M., Bikangui, R., Nguema-Ondo, G., Mpingabo, P.I., Zadeh, V.R., Pemba, C.M., Kurosaki, Y., Igasaki, Y., de Vries, S.G., Grobusch, M.P., Agnandji, S.T., Lell, B., and *Yasuda, J.: Re-emergence of dengue virus serotype-3 infections in Gabon in 2016–2017, and evidence for the risk of repeated dengue virus infections. *International Journal of Infectious Diseases*, in press. (Epub: Dec 7, 2019) doi: 10.1016/j.ijid.2019.12.002. IF=3.538
2. Abe, H., Ushijima, Y., Bikangui, R., Loembe, M.M., Agnandji, S.T., de Vries, S.G., Grobusch, M.P., Lell, B., and *Yasuda, J.: Ongoing evolution of hepatitis B virus during viremia in febrile patients in Central Africa. *Journal of Medical Virology*, 92(2): 251-256, 2020. doi: 10.1002/jmv.25598. IF=2.049
3. Urata, S., Ishikawa, T., and *Yasuda, J.: Roles of YIGL sequence of Ebola virus VP40 on genome replication and particle production. *Journal of General Virology*, 100(7):1099-1111, 2019. Jun 11. doi: 10.1099/jgv.0.001286. IF=3.192
4. Pemba, C.M., Kurosaki, Y., Yoshikawa, R., Oloniniyi, O.K., Urata, S., Sueyoshi, M., Zadeh, V.R., Nwafor, I., Iroezindu, M.O., Ajayi, N.A., Chukwubike, C.M., Chika-Igwenyi, N.M., Ndu, A.C., Nwidi, D.U., Maehira, Y., Unigwe, U.S., Ojide, C.K., Onwe, E.O., and *Yasuda, J.: Development of an RT-LAMP assay for the detection of Lassa viruses in southeast and south-central Nigeria. *Journal of Virological Methods*, 269: 30-37, 2019. July (Epub April 8) doi: 10.1016/j.jviromet.2019.04.010. IF=1.693
5. Yoshikawa, R., Sakabe, S., Urata, S., and *Yasuda, J.: Species-specific pathogenicity of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus is determined by anti-STAT2 activity of NSs. *Journal of Virology*, 93(10): e02226-18, 2019. May 15 doi: 10.1128/JVI.02226-18. IF=4.368
6. +Koide, R., +Yoshikawa, R., Okamoto, M., Sakaguchi, S., Suzuki, J., Isa, T., Nakagawa, S., Sakawaki, H., Miura, T., and Miyazawa, T.: Experimental infection of Japanese macaques with simian retrovirus 5. *Journal of General Virology*, 100(2): 266-277 doi: 10.1099/jgv.0.001199. IF=3.192. +equally contribution

B 邦文

B-a

1. 安田二郎：次々と現れる新興ウイルス感染症～日本と世界の対応～、西彼杵医師会報、113号、一般社団法人西彼杵医師会、2019年。2019年2月
2. 安田二郎：巻頭鼎談「BSL4施設の重要性和世界への貢献」、最新醫學（編）、74（4）、pp471-475、最新医学社、大阪、2019年
3. 安田二郎：「ラッサ熱」、最新醫學（編）、74（4）、pp453-463、最新医学社、大阪、2019年
4. 安田二郎：「ラッサ熱と南米出血」グローバル時代のウイルス感染症（西條政幸編）、pp144-147、日本医事新報社、東京、2019年
5. 浦田秀造：「抗アレナウイルスおよび抗フィロウイルス薬シーズの開発と現状」、最新醫學（編）、74（4）、pp93-101、最新医学社、大阪、2019年
6. 黒崎陽平：「エボラ診断薬と現場での役割」、最新醫學（編）、74（4）、pp548-554、最新医学社、大阪、2019年

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
2	0	2	9	0	10

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
安田二郎・教授	評議員	九州ウイルス学会
安田二郎・教授	評議員	日本熱帯医学会
安田二郎・教授	「感染症研究拠点の形成に関する検討委員会」委員	内閣官房

安田二郎・教授	牛白血病感染・発症抵抗性牛の指標開発事業 アドバイザー	日本中央競馬会 (JRA)
安田二郎・教授	国際緊急援助隊感染症対策チーム作業部会員 (検査診断班)	JICA
黒崎陽平・助教	Tropical Medicine and Health 編集委員	日本熱帯医学会

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
安田二郎・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) /JICA	代表	地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) 「公衆衛生上問題となっているウイルス感染症の把握と実験室診断法の確立」
安田二郎・教授	AMED	代表	感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 「ウイルス性出血熱に対する治療・診断・予防法等の開発に向けた研究」
安田二郎・教授	AMED	分担	感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 「国内侵入・流行発生が危惧される昆虫媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策に資する開発研究」
安田二郎・教授	AMED	分担	感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 「高病原性ウイルス感染症に対する治療・予防法の開発研究: ワクチン及び動物モデル開発」
安田二郎・教授	AMED	分担	感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 「一類感染症等の新興・再興感染症の診断・治療・予防法の研究推進」
安田二郎・教授	KM バイオロジクス株式会社	代表	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) ウイルス感染症に対するワクチンの開発研究
安田二郎・教授	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	代表	新興・再興感染症に対する迅速検査法の研究
黒崎陽平・助教	黒住医学研究振興財団	代表	ナノポアシークエンサーによるアウトブレイクウイルスのゲノム監視システムの開発
浦田秀造・助教	AMED	代表	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) ウイルスの表面糖タンパク質開裂解析を通しての創薬標的検証
浦田秀造・助教	大阪大学微生物学病研究所	代表	エボラウイルス及びラッサウイルス増殖に共通して寄与する宿主因子の同定と機能解析
浦田秀造・助教	京都大学ウイルス・再生医科学研究所	代表	蛍光プローブを利用した高病原性ウイルスに対する創薬基盤研究
浦田秀造・助教	赤枝医学研究財団	代表	老化関連ウイルス感染抵抗性因子を突き止める!
阿部 遥・助教	日本学術振興会 (JSPS)	代表	中部アフリカにおける野生動物保有病原体の次世代シークエンサーを用いた網羅的解析

櫻井康晃・助教	日本学術振興会（JSPS）	代表	クリミア・コンゴ出血熱ウイルスの細胞侵入機構の解明と治療標的の同定
櫻井康晃・助教	武田科学振興財団	代表	複製型ウイルス様粒子を用いたエボラウイルス感染阻害剤の探索
櫻井康晃・助教	国立大学法人長崎大学	代表	高病原性ウイルスに対するアモジシアキンの作用機序解析
吉川禄助・助教	内藤記念科学振興財団	代表	新型ダニ媒介性ウイルス(SFTSV)の自然免疫回避システムの理解と、それを利用した治療方法の模索
牛島由理・特任 研究員	日本学術振興会（JSPS）	代表	中部アフリカにおける出血熱ウイルス不顕性感染の網羅的解析及び抗体遺伝子配列解析

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
安田二郎・教授 黒崎陽平・助教	ザイールエボラウイルス検出用プライマーセット、アッセイキットおよび増幅方法	2015年 6月19日	2019年 10月25日	特許第6605238号

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
安田二郎・教授	Emerging and Reemerging Viral Diseases	聖路加国際大学公衆衛生大学院国際感染症学
安田二郎・教授	岐阜大学、鳥取大学獣医学科合同講義	岐阜大学、鳥取大学獣医学科

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
安田二郎・教授	「常温輸送・保管可能なエボラ検出試薬 キヤノンメディカルと長崎大が開発」	日刊工業新聞	2019, 5, 13	キヤノンメディカルシステムズと共同開発した常温で輸送・保管可能なエボラ検査薬の開発について
安田二郎・教授	News Every	日本テレビ	2019, 7, 18	「エボラ出血熱について」解説
安田二郎・教授	「日本の創薬・検査技術躍進」	日本経済新聞	2019, 8, 27	キヤノンメディカルシステムズと共同開発した常温で輸送・保管可能なエボラ検査薬の開発について

学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
浦田秀造・助教	杉浦奨励賞	日本ウイルス学会	「高病原性ウイルスの増殖機構の解明及びその創薬への応用」が評価されたため。

○特筆すべき事項

- ①企業と共同開発したエボラウイルス迅速検査キットが日本政府からの無償支援として 2015 年のギニアに続いて、2019 年 10 月にコンゴ民主共和国に供与された。